自主防瓦版

２０２５年
４月１８日
（第１４９号）
延岡市
自主防災組織
連絡協議会
事務局
☎22-7105

防災資機材交付式

令和七年二月十四日（金）延岡市自主防災組織連絡協議会（森口正輝会長）防災資機材交付式が消防本部視聴覚室で行われました。

今回は、延岡市自主防災組織資機材整備事業補助金を活用して購入した新規結成資機材を４組織及び簡易テントを１０組織に交付しました。

森口会長は「日向灘を震源とする地震や大雨災害が発生し、災害に対する備えを見つめなおす年になったかと思います。来るべき災害に備え、自助・共助を担う自主防災組織を充実させ、地域の防災力を高めていく必要がございます」と挨拶しました。

交付された１４組織を代表してオリエントタウンとみやま区甲斐喜久夫会長が、お礼の言葉として「昨年は、延岡市でも震度４を記録する地震や大雨災害に見舞われました。日頃から防災訓練や防災講話により、危機感を持つとともに、問題を改善していきます」と述べました。

○新規結成資機材
①オリエントタウンとみやま区（甲斐喜久夫会長）②佐野ねむの木団地区（苅安まみ子会長）③妙町区（土井房信会長）④平原東区（甲斐祥太郎会長）
○簡易テント受領組織
①大門町区（田中純一郎会長）②伊形区（稲吉悦夫会長）③上平原区（山本盛男会長）④野田町つつじ３区（岩切隆幸会長）⑤浜砂区（高橋貞二会長）⑥大武１区（兒玉旨喜会長）⑦大武２区（志田豊司会長）⑧柚の木田区（木場富次会長）⑨長浜団地区（福田行倫会長）⑩西階うぐいす区（村上友久会長）

【受領組織へ交付】

【森口会長あいさつ】

【受領組織による集合写真】

第１４回延岡市防災フェスタ

延岡市防災フェスタ実行委員会（森口正輝実行委員長）は、令和七年二月二日（日）イオン延岡駐車場において、防災関係機関・団体・企業など約２０団体が参加して、第１４回延岡市防災フェスタを開催しました。

延岡市消防団のラッパ隊によるファンファーレで開幕。会場には約６千人の方が見学に訪れました。警察・消防・自衛隊・国交省の車両や試着コーナーは、人気が高く順番待ちの行列ができていました。

今回は、スマートシティ推進室が担当した空飛ぶクルマが展示され、たくさんの人が写真撮影やシミュレーション飛行を体験していました。

また、県防災士ネットワーク延岡支部は、新聞紙スリッパの作成講座、防災クイズ及びポップコーンの無料配布を行いました。

その他のコーナーにもたくさんの見学者が訪れ、延岡市消防団女性消防隊「とよ姫隊」による段ボールベッドの作成、煙体験ハウスによる煙中歩行、心肺蘇生法、災害用伝言ダイヤル等の体験、ペット防災、ボランティア活動等の展示を見て防災意識を高めました。

方財町ワークショップ

方財町区自主防災組織（福良ツマ子会長）は、令和七年一月二十六日（日）方財公民館にてワークショップを行いました。

各グループで進行役と発表者を決めたのち方財町の良いところ、不安に思うところ、課題、個人や地区でできることの意見を出し合いました。その後、グループごとに発表し「初日の出が素晴らしい」「海の近くなので津波が心配」「備蓄品の保管を個人だけでなく、地区でも準備したほうがいい」などの意見が出ました。福良会長から「みなさんの意見を取りまとめ地区防災計画を作成します」と伝え、終了しました。

【オープニングセレモニー】

【大人気の消防車両】

【煙がすごい！】

【みんなでベッド作成】

【意見の集約中】

結成しました

自主防災組織率
組織数
２８１組織
組織率
８６．４３％
令和７年１月９日
現在

防災訓練は災害時に役立ちます

Topics

延岡市ホームページに「自主防災組織を考える」を掲載しています。
「延岡市　自主防瓦版」で検索してみてください。

防災訓練・講話等予定

〇延岡市民大学ＯＢ会
防災講話
４月２６日（土）
午前１１時～
社会教育センター

〇中島町防災訓練
４月２７日（日）
午前 ９時～
中島街区公園

〇各地区区長会総会
＊３月１８日現在の情報です。
変更になる場合もあります。

・恒富地区
４月９日（水）
国技館　午後５時～

・伊形地区
４月１２日（土）
土々呂コミセン午後１時～

・東海地区
４月１９日（土）
東海コミセン午前１０時～

・岡富地区
４月２６日（土）
岡富コミセン 午後２時～

・南方地区
４月２７日（日）
南方東コミセン午前１０時～

出　前　講　座

自主防災組織の育成と拡大のための出前講座

・内容：自主防災組織の必要性と役割分担及び地域に合わせた防災教育や訓練等の指導（講話・ビデオ・各種訓練・防災グッズ作成等）
・会場：各地域（公民館など）
防災研修センター
・申し込み先：消防本部
警防課　警防係
TEL２２－７１０５
FAX３１－０３０３

宮崎県防災士出前講座

・内容：宮崎県内のご希望の会場に防災士を派遣し、体験学習や講演を中心に防災・減災についての講座を実施
・申し込み先：宮崎県防災士ネットワーク
TEL０９８５－５５－０４７７
FAX０９８５－５５－０４６７

塩浜町笹目区防災講話

塩浜町笹目区自主防災組織（石川俊一長）は、令和七年一月十八日（土）に笹目教育センターで、防災講話を行いました。

防災推進員から、昨年８月及び今年１月に南海トラフ巨大地震の想定震源域内で発生した地震について説明がありました。

大きな揺れを感じた際は、自分自身の安全確保を最優先してから、家族の安否確認や避難行動を行う事が重要だと理解しました。

また、南海トラフ地震臨時情報（注意）が発令された時の行動についても紹介がありました。

その後、有限会社旭ケミカルによる防災グッズの説明があり、物心両面の備えについて参考になりました。

会長より、３月９日（日）に計画する防災訓練で、地域全体の防災力向上に繋げたいと挨拶がありました。

【挨拶する石川会長】

【講話を聴く参加者】

みなと推進チーム防災研修会

みなと推進チーム（今邑善道会長）は、令和七年二月十五日（土）に港公民館で防災研修会を行いました。

今邑会長から「昨年１０月の大雨や１月の地震など延岡市でも自然災害が発生しているので、防災意識を高める必要がある」と挨拶があり、防災推進員より令和６年１０月に発生した大雨について、雨雲レーダーによる雨量の推移を確認し、市内の複数箇所で孤立状態が発生した事や小規模の土砂災害でも破壊力は強い事などの説明を受けました。

また、昨年８月と今年１月に発生した地震の説明では、発災直後に取るべき行動や就寝中の安全確保の為に、家具の固定やレイアウトの工夫が非常に大切である事や地震予知は非常に困難であることから普段からの備えの重要性を再認識しました。

講話の後、災害時に高齢者や要支援者に対する避難支援の考え方や日頃からの啓発について活発な意見交換が行われました。

【顔の見える地域性】

【挨拶する中島会長】

このはなウォークボランティア

延岡市区長連絡協議会（森口正輝会長）は、令和七年二月二十二日（土）～二十三日（日）に五ヶ瀬川河川敷で開催されたこのはなウォーク会場内２ヶ所に設置されたごみステーションを運営しました。

両日とも天候に恵まれ、多くの来場者が飲食を楽しんだ後の美化活動に大きく貢献しました。

陸上自衛隊から、北熊本駐屯地・小郡駐屯地・都城駐屯地及び宮崎地方協力本部延岡出張所が参加し、応急架設橋設置や音楽演奏及び装備品展示などを行いました。

【激励する読谷山市長】

【架設橋行進中です】

【ラッパ吹奏する隊員】

自主防災組織結成について

延岡市自主防災組織連絡協議会（森口正輝会長）では、年間を通して自主防災組織結成について相談窓口を開設しています。

結成方法や役割など、防災推進員２名が説明しますので、消防本部警防課（２２－７１０５）まで気軽に連絡してください。